

一般質問



鶴 伸一郎 議員 (公明)

品川区の防災力強化について

実施しており、今後も充実させる。④補助教材でも紹介されている施設なので教育に活用するとともに、地域や町会にも紹介していく。⑤スタン

活字文化の復興について

①区立図書館について⑦就学前教育の、より一層の充実を図るために、児童図書蔵書を増やしては。④幅広い世代が読書のおもしろさなどを共有し、活字文化の醸成の一助となるよう、利用者による

教育次長

①の早い時期の読み聞かせや発達段階に応じた図書の紹介は、読書離れに対して有効な手段であるとの認識しており、今後も児童図書の充実を努めていく。①常設での設置は困難だが、モデル的に実施したい。②事業の継続性と安定したサービスの提供、費用面が課題だ。国で専門的な検討が行われており、動向を注視していく。

子育て支援の充実について

①妊婦が安心して出産を迎えらるよう⑦タクシー利用券の贈呈を。①タクシー会社と連携した妊婦タクシー制度の導入を。②区有施設への多目的トイレ等の完備と、設置できないところには男性トイレにもおむつがえシートを設置するなど男性が育児しやすい環境を整えては。③検討されている子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン定期接種に伴う区の負担増に対し、国等へ財源確保を要望するの。④ロタウイルスワクチン接種費用の公費助成を。

品川区保健所長 ①の利用券贈呈は考えていない。①民間タクシー等の情報収集に努め、相談内容に応じ適切な情報提供をしていく。②施設の

品川区保健所長

④国の動向を見守っていく。①SNSであるフェイスブックを活用し、情報通信の更なる拡充を図るべきだ。②区の魅力を視覚的にも感じ、トップセールスの一助ともなるバックパネルの導入を。

行政の見える化について

企画部長 ①SNSのメリットについては高く評価されているが、課題などもあり、他自治体での事例検証も含め検討していく。②今後は、視覚的に品川区の魅力伝えていくには何が効果的かという視点から検討を進めていく。



西本 貴子 議員 (み・無)

実行性のある防災対策について

①夜間の危険を回避し、節電も達成する方法は。②体育館等の施設開放のあり方は。③避難所運営組織について⑦組織率は。④区役所の関わり方は。⑤誰でも運営できるよう情報の共有化を。⑥教師の位置づけは。⑦備蓄の再考は。⑧避難所運営は、現実的な行動がとれる運用にし、

いつまでも元気で品川区に住み続けていくための高齢者施策について

①事業を知らせる冊子等を作成し民生委員等が配布し、参加を促しては。この際誰が責任を持ち情報の集約をするのか。②シルバーセンターの役割は。③民設民営の西大井いきいきセンターの利点等は。④将来にわたるシルバーセンターの運営は。⑤介護予防事業と健康づくり事業の成果等は。⑥在宅医療のネットワークを構築しセンター化することで、一層区の医療機関が充実するのは。⑦高齢者施設整備については⑦目標や将来の構想は。⑧民間企業にどこまで助成するのか。⑨都や国の補助金や制度改正の動向は。

健康福祉事業部長

①しながわいきいきガイドを作成しているが、配布等は検討する。集約の責任は情報提供側だ。②高齢者の活動の場であり、幅広く利用いただけるよう工夫する。③運営法人のノウハウを生かして事業展開している。今後のシルバーセンター運営の参考となる。⑤参加者の満足度はかなり高い、当



目黒川水門

面は継続する。⑥医師会等と意見交換会し、ネットワークの強化を図る。⑦一定の整備は必要であり、条件が整えば検討する。⑧介護保険事業計画のもとで検討する。⑨サービス付き高齢者向け住宅制度に伴う変更があった。

子ども政策について

①幼保一体化において、私立幼稚園との連携は。②認定こども園の成果等は。③国会で新システムが審議されている。影響等は。④保育園と小学校の連携による効果等は。⑤幼稚園、保育園から中学校までの連携は。また、区がめざす子ども像などは。⑥高校世代の施策について⑦就労支援も踏まえた施策の展開が必要では。⑧青少年問題協議会

等の連携を図り、実行性のある組織運営をすべきでは。⑦地域で子育てについて⑦子ども未来事業部内の組織改正の利点等は。⑧今後の施策は。子ども未来事業部長 ①区の乳幼児教育実践の手引き作成に私立幼稚園長も参加してもらい、その活用を勧めていく。②乳幼児教育と地域子育て支援の充実を図った。③動向を注視する。④連続性のある保育・教育を実践している。⑤成長に合わせた連携を一層推進し、自主・自立の志などを身につけた子どもを育成する。⑥⑦の研究課題だ。⑧関係団体等との連携を強化し、青少年の健全育成事業の実効性を高める。⑦⑧機動的に対応等するため実施した。⑧地域の諸団体と連携を進め、地域の子育て力の向上を図る。